

第 65 回町村議会議長全国大会 会長挨拶

本日ここに、「第 65 回町村議会議長全国大会」を開催するにあたりまして、岸田 内閣総理大臣をはじめ、ご来賓の皆様には、公務極めてご多忙の折にもかかわりませず、ご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。

本年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、参加人数を制限しての開催となりますが、全国各地からご参集いただきました各都道府県代表の町村議会議長の皆様には深く感謝を申し上げます。

また、本日は、ご出席の叶わなかった町村議会議長の皆様にも、オンラインで視聴いただいております。

本年 10 月、岸田 文雄 内閣総理大臣が就任をされ、新しい内閣が発足されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

岸田総理におかれましては、国と地方の連携のもと、山積する課題の解決に向けて強いリーダーシップを発揮し、新型コロナウイルスによる未曾有の国難を乗り越え、我が国の明るい未来を切り拓いていただくことをご期待申し上げます。

近年、自然災害が多発しております。本年も、豪雨災害、土砂災害、地震、そして火山の噴火と各地で甚大な被害が生じました。尊い命を失われた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

大規模災害はいつどこで起こってもおかしくない状況にあります。国民の生命・財産を守り、災害に強い強靱な国づくりを進めるためにも、より一層の防災・減災対策の強化が求められます。

また、東日本大震災、熊本地震等の被災地は、いまだ復旧・復興の途上にあります。今後とも被災地に寄り添った支援をお願い申し上げます。

新型コロナウイルスとの闘いが 2 年に及ぼうとしています。感染症の拡大は、国民生活・経済活動に甚大な影響を与え、地域経済は極めて厳しい状況にあります。町村における地域経済の核は農林水産業であります。特に米価の大幅な下落は深刻な問題であります。当面の需給の安定に向けた支援など十分な対策をお願い申し上げます。

コロナ禍において、地方財政は引き続き厳しい状況になることが見込まれます。安定した行政サービスを提供していくためにも、地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保・充実は必要不可欠でありますので、確実に確保していただくよう強く求めて参ります。

コロナ禍の中、私たち町村も、一日も早く平穏な日常を取り戻せるよう、感染拡大防止と社会経済活動との両立を図るため、「二兎を追って、二兎を得る」との気概を持って取り組んで参りたいと存じます。

私たち町村は、安全で美味しい食べ物を生産し、綺麗な水、澄んだ空気を都市へ供給し、国民生活を支えて参りました。そして、地域の伝統文化を育み、美しい自然と景観を守り、自然と折り合い自然とともに暮らす文化を守ってきました。

しかしながら、時代とともに効率性や便利さが求められるようになり、農山漁村から多くの若者が離れ、過疎化・高齢化が都市部より進んでいるのが現状です。

多様な可能性を持つ農山漁村は我が国にとってかけがえのない地域です。そこに人々が暮らし続けることによって、美しい自然や景観、文化や風土が維持されてきたことを忘れてはなりません。

農山漁村の活力は日本の活力につながります。

そのためにも、国と地方で取り組んでいる「地方創生」を必ずや実現させ、各地域が再び人々の活気で賑わうよう、全力で取り組んで参りますので、引き続きのご理解とご支援をお願い申し上げます。

私たち町村議会は、住民の多様な意見を聞きながら、これまで以上に行政監視と政策立案機能を発揮し、議会の使命を果たして参ります。

それぞれの地域が自主・自立の精神をもって、不断の議会改革に努め、住民から信頼される議会を構築して参ります。

昨今、深刻化している議員のなり手不足問題に対しましても、「地方議会の位置づけの明確化」、「地方議会議員の職務の明確化」「厚生年金制度への地方議会議員の加入」、「低額な議員報酬の改善」など、議員を志す誰もが議会に参画することができるよう環境整備に積極的に取り組んで参りたいと存じますので、ご来賓の先生方におかれましては、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本大会が^{しよき}所期の目的を達成できますよう、ご参集の皆様にご協力ををお願い申し上げ、開会のご挨拶といたします。

令和3年11月26日

全国町村議会議長会
会長 南 雲 正